

発掘体験現場から珍しい化石を発見

今春に実施した鳥屋城山での発掘体験には、2日間で約160組、300人の参加がありました。そのうち3割は、県外からの参加者でした。アンモナイトの化石もいくつか見つかり、大盛況でした。

●何の化石？

大阪から参加していた家族が、細かい溝が掘られた、小さな穴が開いた石を発見しました。それが左の写真です。写っている虫眼鏡が親指の爪くらいの大きさなので、非常に小さいことが分かります。

よく見ると、放射

線状に規則正しく掘られた溝のような模様が見えました。割れた石の模様のように自然にできたものではないので、何かの化石だと考えられます。放射状の矢印



模様は、ウニやヒトデなどの棘皮動物きよくひどうぶつに見られる特徴ですが、サイズが小さ過ぎます。

●ウミユリの化石か

この化石をいったん預かって調べたところ、どうやらウミユリの茎の断面であることが分かりました。

ウミユリは、左図のように海底に咲く花のような形をしています。5億年以上前の古生代カンブリア紀に誕生し、中生代までは大繁栄していましたが、現在は生息域を追われ、深海でひっそりと生き延びています。

今回、発掘体験で見つかった部分は茎で、断面はよく星形になります。この形が花のように見えることから、ウミユリ化石が密集した石は、古くから「梅花石（ばいかいし）」として知られてきました。

